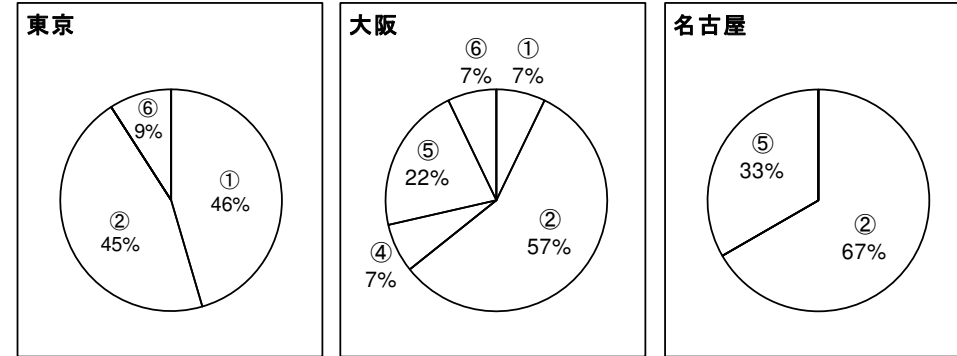


Q1. 国債のマイナス金利が定着した今日、資産配分等において、どのような対策を実施すべきだと思われるか。最も効果的だと思われるものを、一つだけお選びください。

()%	東京	大阪	名古屋	合計
① 国内債券の組入れ比率を大幅に引き下げて、株式等も含めて、他の多様な資産へ、細かく再配分する。	5名	1名	0名	6
② 国内債券の組入れ比率を大幅に引き下げて、外国債券、不動産、ローン等の安定インカムの投資対象(非流動的資産を含む)のなかで、多様な資産へ、細かく再配分する。	5名	8名	2名	15
③ 国内債券の組入れ比率を大幅に引き下げて、原則として、外国債券等の流動的な債券(あるいは債券代替資産)のなかで、細かく再配分する。	0名	0名	0名	0
④ 国内債券の組入れ比率を維持しながら、そのなかで、超長期ゾーンなど銘柄選択の問題等として、対応する。	0名	1名	0名	1
⑤ 国内債券の組入れ比率を維持しながら、それ以外のところで、国内金利と関連の低い資産を増やすなどの工夫を行う。	0名	3名	1名	4
⑥ 特に、大きな変更をしない。	1名	1名	0名	2
⑦ その他	0名	0名	0名	0
	11	14	3	28

【複数回答】

大阪:①②...1名



Q2. 日本の株式への投資について、どのようにお考えでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 構造改革や企業統治改革など、個別企業の対応力に差がでくるので、アクティブ運用が活躍する可能性が大きい。	4名	3名	1名	8
② 日本と外国という区分を廃止して、グローバル株式のアクティブ運用へ一本化する。結果として、世界に通じる日本企業だけが投資対象になれば、それで十分。	1名	6名	1名	8
③ 企業統治改革の視点から、大株主としての地位に基づき、経営者との対話を重視するような運用に投資の妙味がでくる。	0名	0名	0名	0
④ 海外投資家もカバーできないような中小型株には、割安に放置された銘柄が多数存在し、魅力がある。	5名	2名	0名	7
⑤ アクティブ運用に魅力がない。投資するならば、インデックス、もしくは、スマートベータしかない。	0名	2名	1名	3
⑥ そもそも、日本株に投資する必要を感じない。	0名	1名	0名	1
⑦ その他	0名	1名	0名	1
合計	10	15	3	28

【複数回答】

大阪:①⑤...1名
①②...1名

【その他回答】

運用方針は「株のアクティブはしない」としている。

